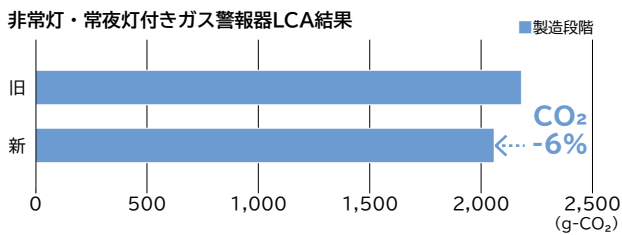
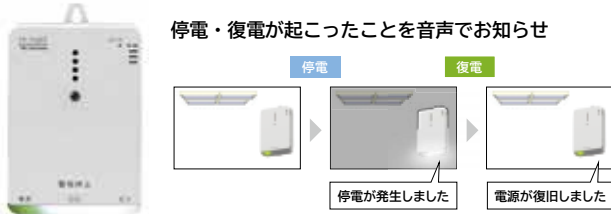


灯機能を搭載したガス警報器『YP-756FE』を開発し、非常時の安心・安全確保の実現に貢献しました。また、低消費チップ型LEDを採用することで、非常灯・常夜灯点灯時の消費電力を、電球を使用した一般的な製品と比較して80%低減しました。



デジタルタコグラフ (DTG3α) の開発

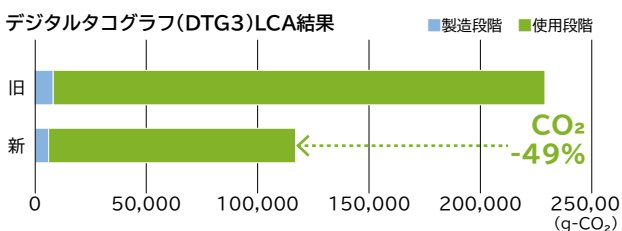
従来品の『DTG3』は、本体および周辺機器 (GPS ユニット、インターフェイスボックス^{※1}) で構成されていました。これらの機器を車両に搭載することで、「時



間の管理や、作業場所の把握等を速やかに行いたい」というお客様のニーズを満たすことができますが、構成される機器の数に応じて配線するハーネスの増加や搭載スペースの確保が必要となるなど、取り付け作業が増えてしまうという課題がありました。

そこで、周辺機器の機能を本体に内蔵した『DTG3α』を開発し、取付けスペースを確保することで、取り付け時の作業性の向上を図るとともに、従来品比30%の軽量化と17%の小型化^{※2}を実現しました。

※1 インターフェイスボックス：タコグラフを後付機器として各種車両に取り付けする場合のインターフェイス機器
 ※2 機能あたりの質量とサイズを比較した場合



環境貢献活動

各事業所における取り組み

プラスチックゴミ削減の取り組み (TYE)

近年、プラスチックゴミが環境に与える影響が問題となっています。TYE (タイ) では、2018年11月から社内の売店で飲み物を購入する際にマイボトルを持参した従業員に対して、代金を値下げする活動を開始しました。また、買い物袋を持参した従業員にはエコポイントが加算され、ポイントが貯まるとマイボトルをもらうことができます。これらの取り組みを通じて、従業員の意識向上に努め、プラスチックゴミの削減を推進しています。



マイボトルを持参して売店で飲み物を購入する従業員

緑のカーテン植栽活動

鷺津分工場 (静岡県湖西市) では、室温の低減と環境保全を目的に、2011年から緑のカーテンの植栽を実施

しています。2018年度は、各職場から選任された「環境大使」が、緑のカーテンのつくり方や世話の仕方を学び、各々が担当するエリアにゴーヤの苗を植えました。環境大使は約半年の任期の間、緑のカーテン管理のほか、環境意識の啓発や清掃活動などに取り組み、各職場における環境活動推進の中心となり活動します。



ゴーヤの苗植えの様子